

労働力確保の取組事例

株式会社井ヶ田製茶北郷茶園(宮崎県日南市) R7.9作成

ACにちなん事業協同組合を活用した労働力確保(事例1)

【取組の経緯】

- ・当社では、正社員、12名を常時雇用しているが、4月から11月までの除草作業には新たな人手が必要で確保には苦慮していた。
- ・そのような中、令和2年に総務省の特定地域づくり事業協同組合制度を活用した組合(ACにちなん事業協同組合)づくりの話があり、事務局を担う代表(田鹿氏)からの声掛けを機に、組合員として参加することとした。

【取組の概要】

- ・当社は、自社茶園11ha(摘採面積3.5ha:有機栽培)で収穫した茶葉と茶商として購入した荒茶の仕上加工及び袋詰め卸売、小売を行っている。
- ・茶畑(有機栽培)の管理は、除草作業が重要であるが、草取りが手作業となるため、4月中旬から11月までの間、派遣を依頼している。
- ・必要な時期の約1か月前までに組合に申込み、組合からも事前に確認の連絡がある。
- ・派遣社員については、ACにちなんの事務局が、弊社の仕事にマッチした職員を派遣してくれるので、依頼する側としてもストレスもなく助かっている。
- ・派遣社員の仕事ぶりが良い刺激となって、当社社員に緊張感が生まれ、働く姿勢に変化がみられる。
- ・長期受入でも、他の派遣会社に依頼したときに比べ、支出が抑えられている。

【今後の事業展開】

- ・事業については、現状を維持しながら更なる品質向上を図っていく。



代表取締役の田村さん



茶摘み風景



店内風景